

海外支援プログラム実験終了報告書

2015年 9月 15日

実験者1 (氏名・所属) : 左右田稔 東京物性研究所

実験者2 (*1) (氏名・所属) :

研究代表者 (氏名・所属) : 左右田稔 東京物性研究所

中性子散乱課題番号・装置名 : 15518・PONTA

実験課題名(*2) : マルチフェロイックス $Ba_2CoGe_2O_7$ におけるエレクトロマグノンの偏極解析

利用施設・装置 : PSI・SINQ・TASP

利用期間 : 2015年 9月 8日 ~ 2015年 9月 14日

実験の概要(*3) :

マルチフェロイック物質 $Ba_2CoGe_2O_7$ では、0~4meV の範囲に3つの磁気励起が観測されており、計算によって2つの横揺らぎモードと1つの縦揺らぎモードであると予測されている。 $Ba_2CoGe_2O_7$ に対する偏極非弾性中性子散乱を PSI・SINQ・TASP で行い、観測されている磁気励起のモードを明らかにした。

(*1) 1人のみ支援を受けた場合は空欄でお願いします。

(*2) 物性研中性子共同利用で採択された課題名です。

(*3) 簡単な記述で構いません。この報告書の提出をもって、旅費が支給されます。また、実験終了後2ヶ月以内に物性研 ISSP-NSL Database (<http://quasi.issp.u-tokyo.ac.jp/db/index.php>) から activity report の提出をお願い致します。